

名古屋大学医学部附属病院

病院長名	小寺 泰弘
所在地	〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地
交通案内	JR 中央線「鶴舞駅（名大病院口）」下車 徒歩 3分 名古屋市営地下鉄「鶴舞駅」下車 徒歩 8分

□ 病院の特徴

名古屋大学では従来より、卒前から卒後に至る一貫した臨床医学教育を実現するために、『総合医学教育センター』を設置するとともに、2008年度からは、初期研修後の専門育成も支援するために、『卒後臨床研修・キャリア形成支援センター』として機能充実を図り、研修サポート体制の拡充を行った。これにより、名大研修の特徴である関連病院と密接に連携した質の高い臨床教育をより円滑に推進できるようになった。すなわち、2年間の初期研修のみならず、後期・専門研修のキャリアパス整備とキャリア形成の積極的支援など、後期研修や専門研修においても、病院として責任を持った体制が確立したと言える。各種教育ツールを一括管理してシミュレーションによるトレーニングを進めるとともに、OJT (On the Job Training) を重視して臨床手技の習得が速やかに行われるように力を注いでいる。

□ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

名古屋大学形成外科専門研修プログラム

【研修目標】

1. 形成外科のあらゆる分野における知識と技術の習得
2. 診断から治療まですべての診療に関するマネージメント能力の習得
3. チーム医療実践能力の習得

【研修期間】4年

【研修スケジュール】

4年間の研修期間の間に、形成外科領域の疾患治療を通して、解剖学を基本とした症候学、病態生理学を基本とした診断学を学び、形成外科学の特徴である手術手技能力を養うことを目標とする。基幹施設である名古屋大学医学部附属病院及び各関連病院において、それぞれの病院の特色を生かした研修を用意している。大学病院では再建手術、小児形成外科などの分野について学び、各関連病院では外傷、熱傷、創傷治癒などの分野について学ぶことができる。

形成外科手術を行う上で、基本的な手術手技についての理論や適応および方法を理解し自ら実践できること、またその手術手技を用いて応用することができることを研修目標とする。



▲手術風景



□ 主な連携施設

大垣市民病院	名古屋市立大学
岐阜大学	岡崎市民病院
小牧市民病院	あいち小児保健医療総合センター
県立多治見病院	中部ろうさい病院
日赤愛知名古屋第二病院	伊勢赤十字病院
豊田厚生病院	日赤愛知名古屋第一病院
愛知県がんセンター	鳥取大学
岐阜県総合医療センター	市立四日市病院

□ メッセージ

指導医（教授 亀井謙）

皆さんは「形成外科」というどのようなことを

を思い浮かべますか？眼や鼻などを治す顎顔面外科や美容外科の仕事、癌や外傷などの再建外科としての仕事、それとも口唇裂や漏斗胸などの先天異常の治療などでしょうか？答えは一言では言えません。前述した全てが形成外科の仕事であり、これ以外にも多くの分野に活躍の場



があります。決まった手術方法がない時は、検討して独自の手術方法を作ること可能です。名古屋大学形成外科では、形成外科の基本的な考え方や手技を学ぶとともに、大学病院ならではの難しい再建手術や他科との共同手術など経験できます。特に当院では遊離皮弁移植を始めとするマイクロサージャリーを用いた再建手術が年間120件以上あり、全国でも有数の症例数です。最近は再生医療の取り組みも盛んに行っています。仕事が多岐にわたるため、男女問わずやりがいのある分野を見つかることができると思います。興味のある方はぜひ一度見学に来て下さい。医局員一同お待ちしております。

□ 募集要項

・採用予定人数	8人
・給与／月額	月額約20万円に加え、該当する場合に手当（通勤手当、超過勤務手当、夜勤手当、特殊勤務手当（夜間診療業務手当等））を支給
・当直	あり
・当直料／回	20,000円／回
・その他	平日日勤帯の外勤等（週1日まで）可
・応募連絡先	担当者 神戸 未来 電話番号 052-744-2525 Eメール keisei@med.nagoya-u.ac.jp